

いばらきネットモニター
「後発医薬品(ジェネリック医薬品)」に関するアンケート結果

1 調査目的

このアンケートは、県民の皆様が抱えている後発医薬品の印象等についての意識調査を行い、後発医薬品の使用促進にあたっての課題を把握するために実施しました。

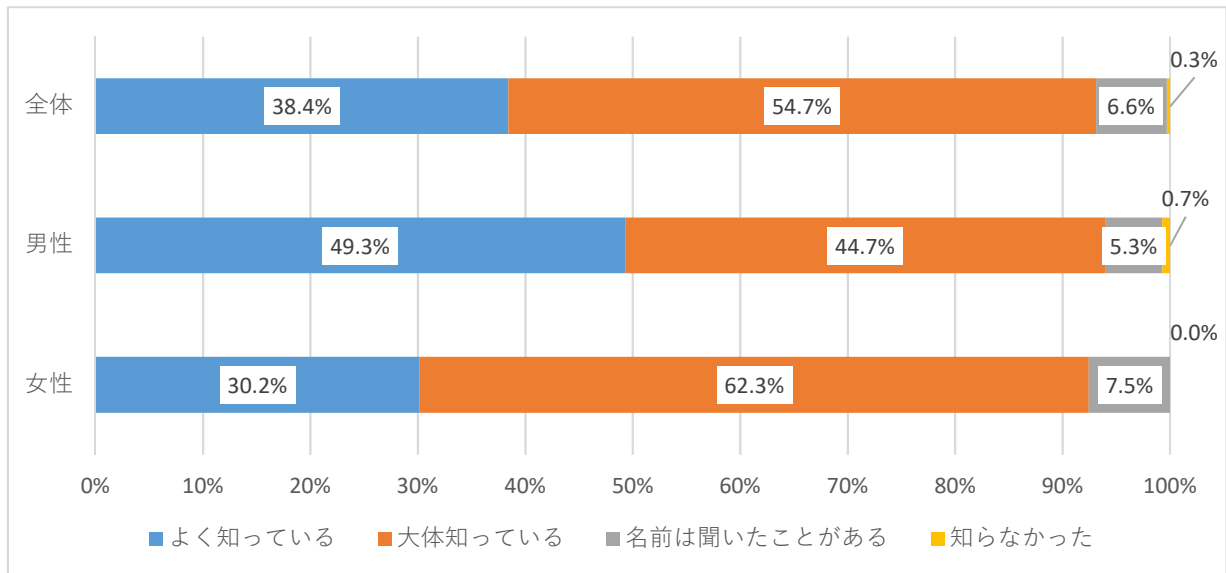
2 結果の概要

- ・後発医薬品を認知している割合、また使用したことがある割合はどちらも9割を上回った。
- ・後発医薬品を希望しない（先発医薬品を希望する）割合は14.2%であり、希望しない理由は、後発医薬品の品質への不安が大部分を占めた。
- ・一方、後発医薬品を希望する理由の大部分が、薬代が安くなるためであった。

【問1】（後発医薬品の認知）

あなたは、後発医薬品（ジェネリック医薬品）（※）のことを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(n=653)



	回答者数（人）			比率（％）		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
よく知っている	251	139	112	38.4	49.3	30.2
大体知っている	357	126	231	54.7	44.7	62.3
名前は聞いたことがある	43	15	28	6.6	5.3	7.5
知らなかった	2	2	0	0.3	0.7	0.0
合 計	653	282	371	100.0	100.0	100.0

○「大体知っている」が54.7%で最も多く、次に「よく知っている」が38.4%、「名前は聞いたことがある」が6.6%となっており、これらを合わせた合計は99.7%に上る一方で、「知らなかった」は0.3%であった。また、性別における状況については、「男性」の方が「女性」より「よく知っている」の割合が高い傾向が見られた。昨年度と比較して大きな変化はなかった。

※後発医薬品（ジェネリック医薬品）とは

新薬（いわゆる先発医薬品）の特許が切れた後に、同じ有効成分を使用して製造した薬のことで、国が効果や安全性を審査し承認したものです。先発医薬品に比べて薬代が安くなるほか、味や大きさなど、服用しやすいように工夫された製品もあります。

詳しくは、こちらをご覧ください（茨城県HP）。

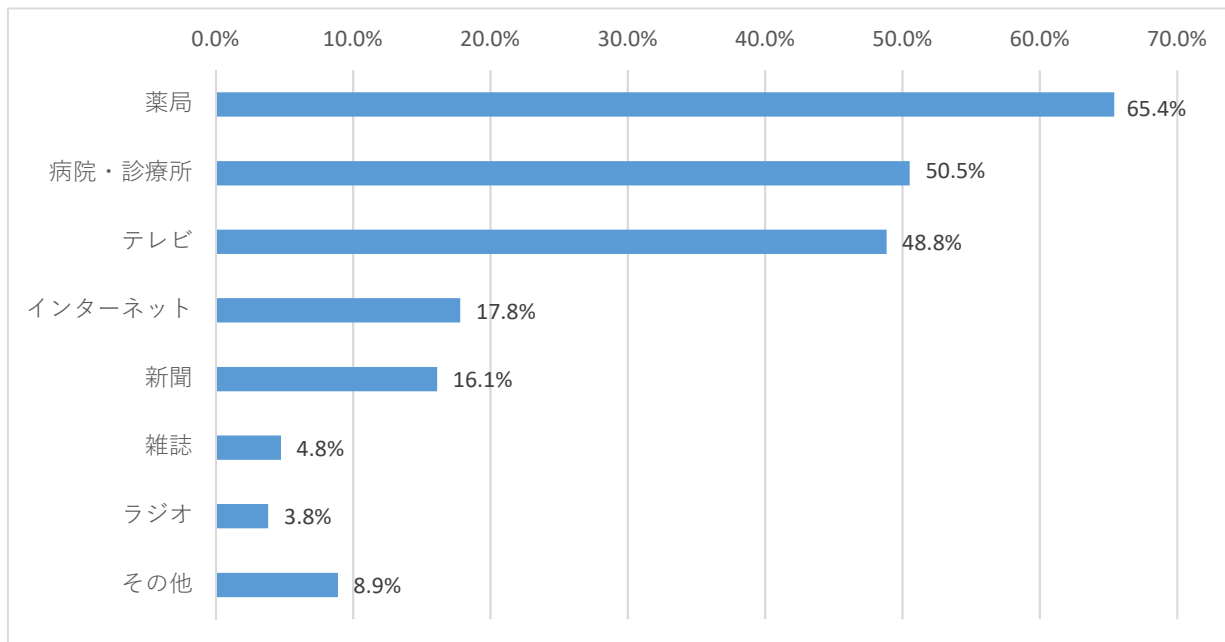
<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yakumu/yakuji/generic.html>

【問2】（後発医薬品の認知のきっかけ）

（問1で「よく知っている」、「大体知っている」、「名前は聞いたことがある」と回答した方にお伺いします）

あなたが、後発医薬品（ジェネリック医薬品）を知った又は聞いたきっかけは何ですか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

(n=651)



	回答数	比率 (%)
薬 局	426	65.4
病院・診療所	329	50.5
テレビ	318	48.8
インターネット	116	17.8
新 聞	105	16.1
雑 誌	31	4.8
ラジオ	25	3.8
その他	58	8.9
合 計	1,408	

○「薬局」が65.4%で最も多く、「病院・診療所」が50.5%、「テレビ」が48.8%と高い割合をしめた。以降、「インターネット」17.8%、「新聞」16.1%、「その他」8.9%、「雑誌」4.8%、「ラジオ」3.8%の順となった。昨年度と比較して大きな変化はなかった。

○「その他」(8.9%)として、次のような意見が挙げられた。

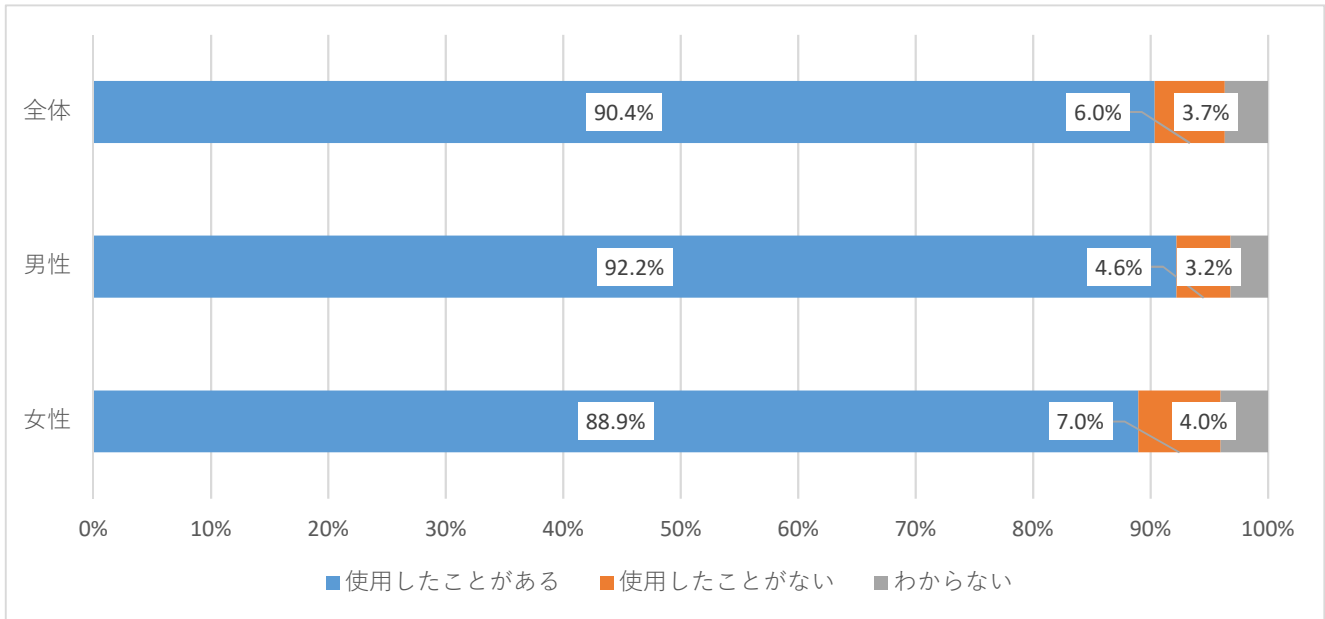
- ・ 保険者の案内
- ・ 勤務先

など、58件のご意見がありました。

【問3】（後発医薬品の使用経験）

あなたは、今までに後発医薬品（ジェネリック医薬品）を使用したことがありますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(n=653)



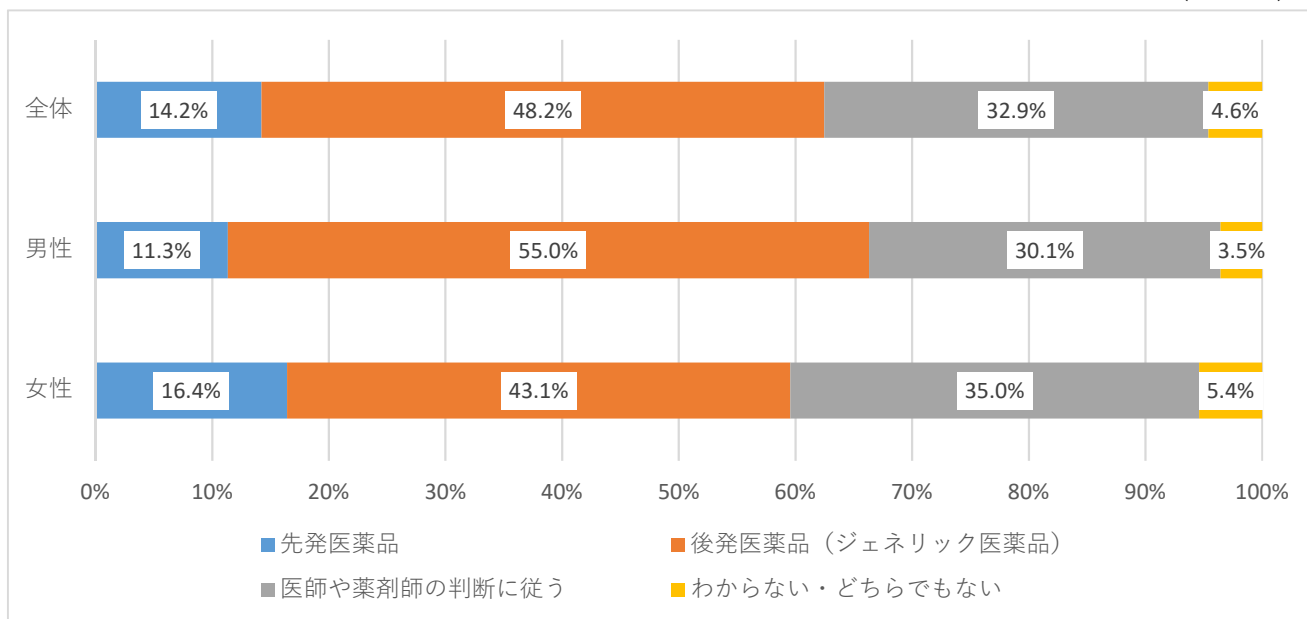
	回答者数 (人)			比率 (%)		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
使用したことがある	590	260	330	90.4	92.2	88.9
使用したことがない	39	13	26	6.0	4.6	7.0
わからない	24	9	15	3.7	3.2	4.0
合計	653	282	371	100.0	100.0	100.0

○「使用したことがある」が90.4%で最も多かった一方で、「使用したことがない」が6.0%となった。「わからない」については、3.7%との結果であった。昨年度と比較して大きな変化はなかった。

【問4】（先発医薬品・後発医薬品の希望の別）

あなたは、先発医薬品と後発医薬品（ジェネリック医薬品）のどちらを希望しますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(n=653)



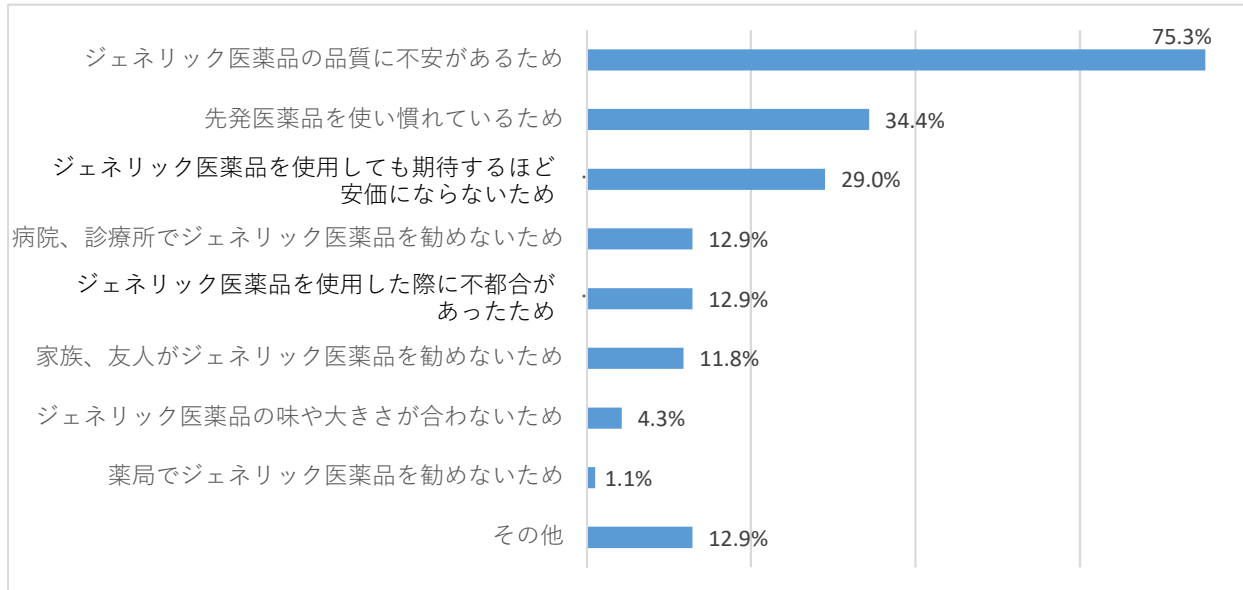
	回答者数 (人)			比率 (%)		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
先発医薬品	93	32	61	14.2	11.3	16.4
後発医薬品 (ジェネリック医薬品)	315	155	160	48.2	55.0	43.1
医師や薬剤師の判断に従う	215	85	130	32.9	30.1	35.0
わからない・どちらでもない	30	10	20	4.6	3.5	5.4
合計	653	282	371	100.0	100.0	100.0

○「後発医薬品（ジェネリック医薬品）」が48.2%と最も多く、次に「医師や薬剤師の判断に従う」が32.9%と多かった。「先発医薬品」を希望した割合については14.2%、「わからない・どちらでもない」との回答は4.6%であった。また、性別による状況においては、「男性」の方が「女性」より「後発医薬品（ジェネリック医薬品）」を希望する割合が10ポイント以上高く、一方で、「女性」の方が「男性」より「先発医薬品」を希望する割合が5ポイント程度高かった。昨年度と比較して、「先発医薬品」を希望する割合が増加した。これは、昨今の複数の後発医薬品メーカーによる不正の発覚が原因と考えられる。

【問5】（先発医薬品の希望理由）

（問4で「先発医薬品」と答えた方にお伺いします）

あなたが、先発医薬品を希望する理由は何ですか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。 (n=93)



	回答数	比率 (%)
ジェネリック医薬品の品質に不安があるため	70	75.3
先発医薬品を使い慣れているため	32	34.4
ジェネリック医薬品を使用しても期待するほど安価にならないため	27	29.0
病院、診療所でジェネリック医薬品を勧めないため	12	12.9
ジェネリック医薬品を使用した際に不都合があったため	12	12.9
家族、友人がジェネリック医薬品を勧めないため	11	11.8
ジェネリック医薬品の味や大きさが合わないため	4	4.3
薬局でジェネリック医薬品を勧めないため	1	1.1
その他	12	12.9
合計	181	

○「ジェネリック医薬品の品質に不安があるため」が 75.3%と最も多く、「先発医薬品を使い慣れているため」が 34.4%と次に多かった。以降、「後発医薬品を使用しても期待するほど安価にならないため」29.0%、「病院、診療所でジェネリック医薬品を勧めないため」「ジェネリック医薬品を使用した際に不都合があったため」「その他」3項目が 12.9%、「家族、友人がジェネリック医薬品を勧めないため」11.8%、「ジェネリック医薬品の味や大きさが合わないため」4.3%、「薬局でジェネリック医薬品を勧めないため」1.1%の順となった。昨年度と比較して「ジェネリック医薬品の品質に不安があるため」と回答した割合が増加した。これは、問4と同様に、昨今の複数の後発医薬品メーカーによる不正の発覚が原因と考えられる。

○「その他」(12.9%)として、次のような意見が挙げられた。

- ・後発医薬品と先発成分の添加物が異なるから
- ・効果に差がある気がする

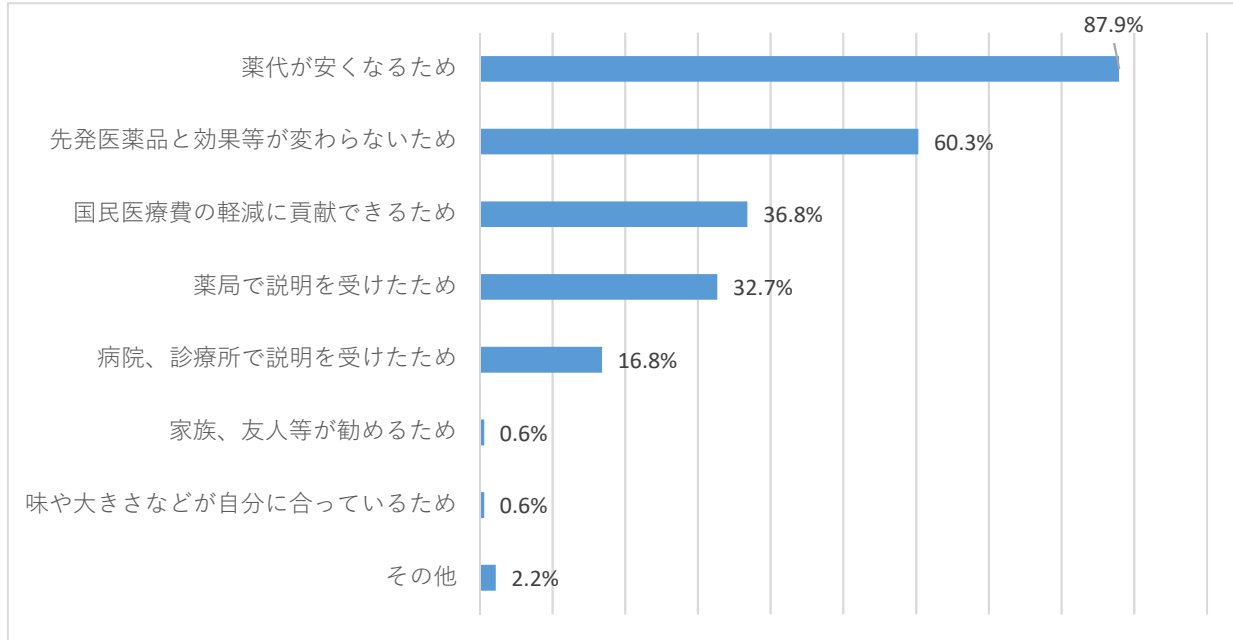
など、12件のご意見がありました。

【問6】（後発医薬品の希望理由）

（問4で「後発医薬品（ジェネリック医薬品）」と答えた方にお伺いします）

あなたが、後発医薬品（ジェネリック医薬品）を希望する理由は何ですか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

(n=315)



	回答数	比率 (%)
薬代が安くなるため	277	87.9
先発医薬品と効果等が変わらないため	190	60.3
国民医療費の軽減に貢献できるため	116	36.8
薬局で説明を受けたため	103	32.7
病院、診療所で説明を受けたため	53	16.8
家族、友人等が勧めるため	2	0.6
味や大きさなどが自分に合っているため	2	0.6
その他	7	2.2
合計	750	

○「薬代が安くなるため」が87.9%と最も多く、「先発医薬品と効果等が変わらないため」が60.3%と次に多かった。以降、「国民医療費の軽減に貢献できるため」36.8%、「薬局で説明を受けたため」32.7%、「病院、診療所で説明を受けたため」16.8%、「その他」2.2%、「家族、友人等が勧めるため」、「味や大きさなどが自分に合っているため」2項目が0.6%となった。昨年度と比較して大きな変化はなかった。

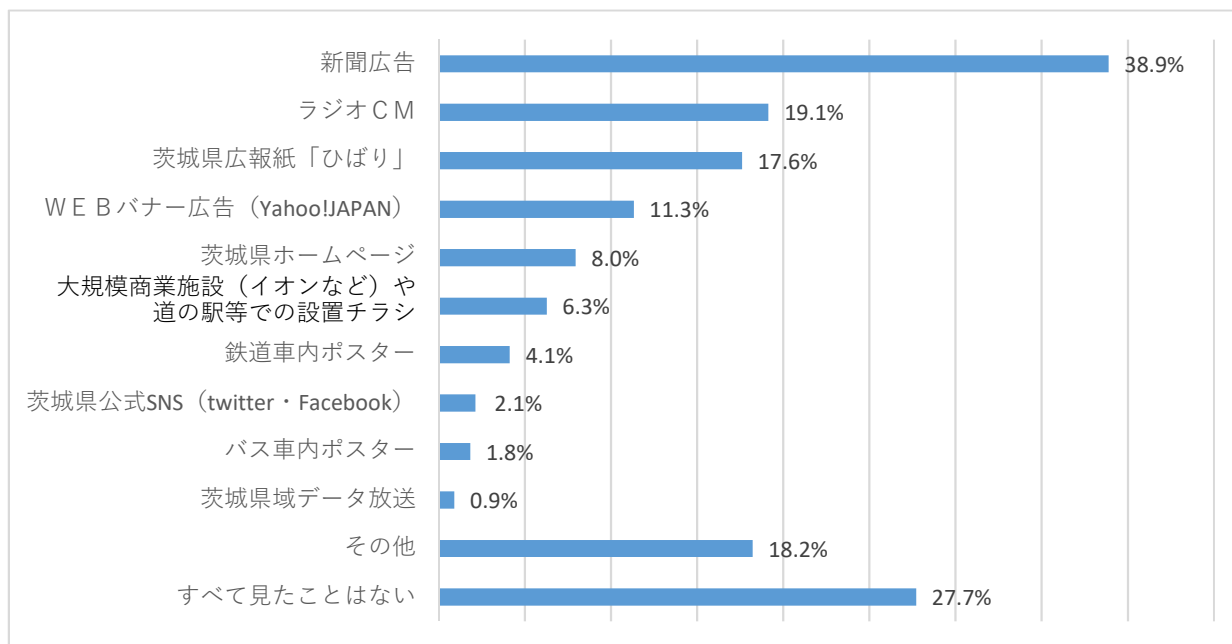
○「その他」(2.2%)として、次のような意見が挙げられた。

- ・病院・薬局によりジェネリック医薬品しか扱っていない所がある

など、7件のご意見がありました。

【問7】（後発医薬品の広報）

次の後発医薬品（ジェネリック医薬品）の広報のうち、あなたが見たことがあるものは何ですか。次の中から、あてはまるものを全て選んでください。（n=653）



	回答数	比率 (%)
新聞広告	254	38.9
ラジオCM	125	19.1
茨城県広報紙「ひばり」	115	17.6
WEBバナー広告 (Yahoo!JAPAN)	74	11.3
茨城県ホームページ	52	8.0
大規模商業施設 (イオンなど) や道の駅等での設置チラシ	41	6.3
鉄道車内ポスター	27	4.1
茨城県公式 SNS (twitter・Facebook)	14	2.1
バス車内ポスター	12	1.8
茨城県域データ放送	6	0.9
その他	119	18.2
すべて見たことはない	181	27.7
合計	1,020	

○「新聞広告」が38.9%で最も多く、「すべて見たことはない」が27.7%で次に多かった。以降、「ラジオCM」19.1%、「その他」18.2%、「茨城県広報紙「ひばり」」17.6%、「WEBバナー広告 (Yahoo!JAPAN)」11.3%、「茨城県ホームページ」8.0%、「大規模商業施設 (イオンなど) や道の駅等での設置チラシ」6.3%及び「鉄道車内ポスター」4.1%、「バス車内ポスター」は1.8%「茨城県域データ放送」0.9%の順となった。昨年度と比較して、「すべて見たことはない」の割合が減少した。

○「その他」(18.2%)として、次のような意見が挙げられた。

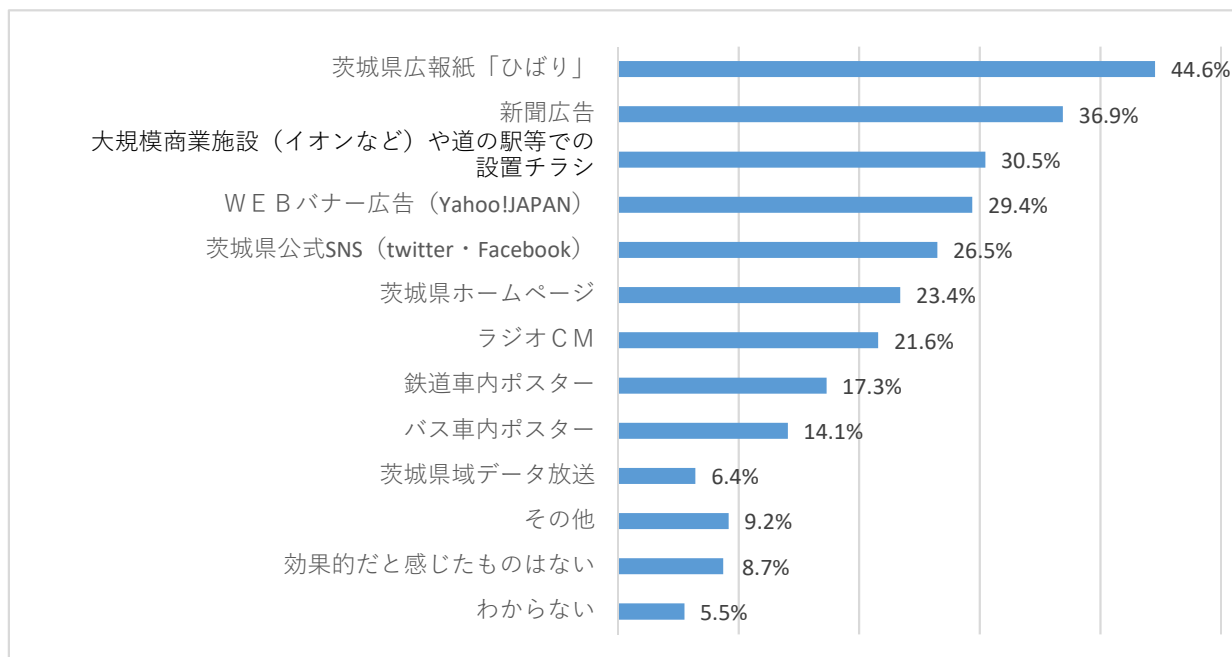
- ・薬局内、病院内ポスター
- ・テレビCM

など、119件のご意見がありました。

【問 8】（後発医薬品の広報 2）

現在、茨城県で実施している後発医薬品（ジェネリック医薬品）に関する広報手法のうち、あなたが、効果的だと思うものは何ですか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

(n=653)



	回答数	比率 (%)
茨城県広報紙「ひばり」	291	44.6%
新聞広告	241	36.9%
大規模商業施設（イオンなど）や道の駅等での設置チラシ	199	30.5%
WEB バナー広告（Yahoo! JAPAN）	192	29.4%
茨城県公式 SNS（twitter・Facebook）	173	26.5%
茨城県ホームページ	153	23.4%
ラジオ CM	141	21.6%
鉄道車内ポスター	113	17.3%
バス車内ポスター	92	14.1%
茨城県域データ放送	42	6.4%
その他	60	9.2%
効果的だと感じたものはない	57	8.7%
わからない	36	5.5%
合 計	1,790	

○「茨城県広報紙「ひばり」」が 44.6%と最も多く、次に「新聞広告」が 36.9%と多かった。以降、「大規模商業施設（イオンなど）や道の駅等での設置チラシ」30.5%、「WEB バナー広告（Yahoo!JAPAN）」29.4%、「茨城県公式 SNS（twitter・Facebook）」26.5%、「茨城県ホームページ」23.4%、「ラジオ CM」21.6%、「鉄道車内ポスター」17.3%、「バス車内ポスター」が 14.1%、「その他」9.2%、「効果的だと感じたものはない」8.7%、「茨城県域データ放送」6.4%、「わからない」5.5%の順となった。昨年度と比較して大きな変化はなかった。

○「その他」(9.2%)として、次のような意見が挙げられた。

- ・病院、薬局内ポスター
- ・テレビCM
- ・YouTube

など、60件のご意見がありました。

【問9】(自由記述)

その他、「後発医薬品(ジェネリック医薬品)」について、自由にご意見をお聞かせください。

- ・後発医薬品の中には、先発より飲みやすいものがあることをもっと周知した方がよい。
- ・メリットやデメリット、副作用については医師や薬剤師に確認して判断したい。
- ・自身の医療費だけでなく、日本全体の医療費削減にも貢献出来る為、積極的に使用している。
- ・昨今の後発医薬品メーカーの不正によって、後発医薬品のイメージが悪くなった。
- ・「安い」というイメージが先行しすぎていて、効能効果や品質に心配がある。
- ・後発医薬品は先発医薬品に劣るイメージがある。

など、348件のご意見がありました。

(注) 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入しました。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値が一致しないことがあります。

3 アンケート結果を受け、今後の事業展開・アンケートの活用方法等について

- ・価格が安い以外の後発医薬品の利点や先発医薬品と効能効果、品質が同等である点をより重点的に啓発を行う。
- ・今後の施策の検討する「後発医薬品使用促進検討会議」等の参考資料として本アンケート結果を利用する。

4 調査の概要

(1) 調査形態

調査時期：令和4年1月7日（金）～1月20日（木）

調査方法：インターネット（アンケート専用フォームへの入力）による回答

モニター数：945名（県内在住者のみ）

回収率：69.1%（653名）

回答者の属性：以下の通り。ただし、百分率表示は、小数点以下第二位を四捨五入しているため、個々の比率の合計は100%にならない場合がある。

		人数（人）	比率（%）
全体（n）		653	100.0
地域別	県北	67	10.3
	県央	236	36.1
	鹿行	39	6.0
	県南	242	37.1
	県西	69	10.6
	県外	67	10.3
性別	男性	282	43.2
	女性	371	56.8
性・年齢別	16～19歳	3	0.5
	20～29歳	43	6.6
	30～39歳	118	18.1
	40～49歳	174	26.6
	50～59歳	167	25.6
	60～69歳	91	13.9
	70歳以上	57	8.7
職業別	自営業	56	8.6
	会社員	220	33.7
	団体職員	26	4.0
	公務員	27	4.1
	主婦・主夫	154	23.6
	学生	16	2.5
	無職	73	11.2
	その他	81	12.4

(2) 担当課

茨城県保健福祉部医療局薬務課（薬事グループ）

電話：029-301-3393 E-mail：yakumu2@pref.ibaraki.lg.jp